



▲旧松崎旅籠油屋(松崎宿)



▲大学生に「松崎宿」の魅力を伝えるマイケルさん



地域おこし協力隊の古建築活用プランナーとして活動している加藤マイケルです。市内には、江戸時代に参勤交代で利用された薩摩街道と、宿場町「松崎宿」があります。「街道沿いに来た松崎宿がなぜ栄えたのか」など、松崎宿などを始め、着任当初から感じていた市の歴史・文化財の魅力を多くの人に知ってもらいたいと考え、活動してきました。その活動内容を紹介합니다。

## 市の歴史・文化財の魅力を知ってほしい

問 文化財課文化財係  
75・7555



## 松崎宿を舞台に紙芝居を制作



令和4～5年度には、今までにない新しい視点から松崎宿や油屋を発信することで、歴史・文化に興味のある人だけでなく、さまざまな人に油屋を訪れてもらいたいと、旧松崎旅籠油屋を舞台とした紙芝居を制作。文化財資料から見てきた本来の歴史とは違うフィクション作品で、挿絵やストーリーの制作は、アートを学ぶ学生に協力してもらいました。地域の人に新たな魅力を発見してもらえたのではないかと考えています。

## 学生や市外にも文化財の魅力を発信

着任した令和3年度は、アートを通して歴史を学ぶ「ChikuGo Juku(ちくご塾)」を企画。大学生とともに制作したモビール(糸などでつるした作品)を市立図書館に展示しました。

また、大原きぼうの森館と協力して、古墳時代に存在した須恵器を作り、歴史を学びました。



移住希望者が市内などを巡るバスハイクでは、埋蔵文化財調査センターの登り窯体験を紹介。他にもテレビやラジオにも出演し、市の魅力を市外に積極的に発信しました。

平成31年に復原された油屋は、当初の目的である地域コミュニティづくり、歴史・文化の情報発信の拠点として、今後も新たな魅力を知ってもらうとともにさまざまな活用の場になればと考えています。